



おだわら

21世紀への飛躍

昭和63年度予算の概要



① 福祉・文化・住民参加などを中心とするソフト面の充実
 ② 福祉・文化・住民参加などを中心とするソフト面の充実

昭和六十三年度予算については、取入の根幹である市税を前年度に比べ、伸び率が九・〇五パーセント、金額では、二十二億円の増額を見込みました。特に会社等が納めていたく法人市民税については、景気の回復を考慮して、前年度よりもかなり増額して見込みました。その反面、国庫補助負担率の引き下げが本年度も継続され、八億六千万円余の影響額が予想されるという厳しい状況でもあります。このような財政環境のもとで、限られた財源を最大限有効に生かし、市民の皆さんの要望にこたえらるよう努力いたします。

予算総額は、金合計合わせた九百七十億四千三万円、前年度に比べ六・五八パーセントの伸びとなり、伸び率が七・〇五パーセントという積極的な予算となっております。

一般会計における、ハード事業としては、総合公園野球場建設、辻村植物公園整備、街路築造、清掃工場増設、道路・河川整備など市民生活に欠かすことのできな都市基盤施設の拡充を行います。

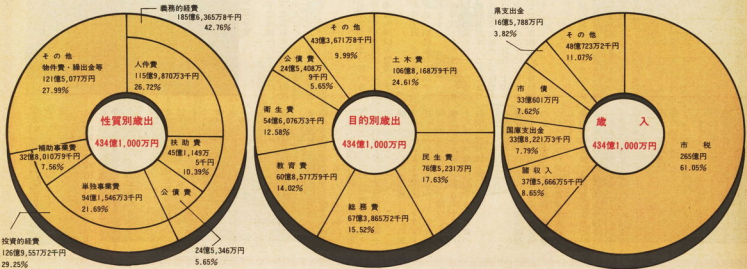
これにより、投資的経費は、百二十六億九千五百五十七万二千円となり、前年度に比べて十二・七パーセントの増、構成比では、二十九・二五パーセントとなり、活力ある都市づくりを進めていきたいと思っております。

また、この建設事業の財源の一部は、国などからの借入金によって賄われていますが、年々増加傾向にあります。

ソフト事業としては、在宅業者訪問指導事業、梅香園と地域社会とのふれあい事業、市史の発刊、生涯教育、婦人行政の推進など、福祉・文化の向上を図っています。

二面三冊で主な事業をご紹介します。

一般会計予算の構成





●歴史的環境と文化遺産を整備・活用します。
●市民交流と文化活動を推進します。
●次代を担う青少年を育成します。

市民文化

●心の潤いと郷土愛を培う。くむ文化事業を推進するため、六十一年度創設したふるさと文化基金、この基金を積み立て、この基金を有効に活用して、文化の振興に役立てます。
●松永記念館では、特別展として春を、夏に、仮松、森田圃展を開催します。

市民スポーツ

●第四十三回国民体育大会の開催を機に、市民スポーツの振興を図ります。また、市民一人ひとりが充実した人生を送ることを目標にして、学校、クラブ、市民団体と連携して、青少年の健全な育成を図ります。

学校教育

●昨年、小学校の校舎を、本年度から一か年で、鉄筋コンクリート造り三階建てに改築します。これにより、普通教室十四室、目的ホール、ラウンジなどができる予定です。
●足柄小学校の運動場を鉄筋コンクリート造り、平屋建て一部二階建てに改築し、地域の方にも開放します。

史跡・文化財

●史跡・小田原城跡整備については、前年度に引き続き、丸中石橋の垣復元工事を行うほか、瓦石積の復元するための設計を行います。
●ふるさと文化基金の利子収入を財源に相模川形彫刻、遊歩橋など市内に広げる民芸館を、次代に伝えます。また、ビデオに収録し保存します。

社会教育

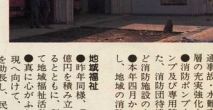
●市民の健康づくりの推進を図ります。

●児童の心疾患の早期発見を図るため、従来の検査が六月から開始し、四年生全員を対象に加えて、心音図検査を行います。
●青少年健全育成
●青少年健全育成の推進を図ります。また、市民一人ひとりが充実した人生を送ることを目標にして、学校、クラブ、市民団体と連携して、青少年の健全な育成を図ります。

人間のまち



●自然環境を保全し、活用します。
●健康で安全な住環境を形成します。
●総合的な福祉サービスを展開します。



●市民の健康づくりの推進を図ります。また、市民一人ひとりが充実した人生を送ることを目標にして、学校、クラブ、市民団体と連携して、青少年の健全な育成を図ります。

●ふるさと文化基金の利子収入を財源に、相模川形彫刻、遊歩橋など市内に広げる民芸館を、次代に伝えます。また、ビデオに収録し保存します。

●市民の健康づくりの推進を図ります。また、市民一人ひとりが充実した人生を送ることを目標にして、学校、クラブ、市民団体と連携して、青少年の健全な育成を図ります。

●市民の健康づくりの推進を図ります。また、市民一人ひとりが充実した人生を送ることを目標にして、学校、クラブ、市民団体と連携して、青少年の健全な育成を図ります。

●市民の健康づくりの推進を図ります。また、市民一人ひとりが充実した人生を送ることを目標にして、学校、クラブ、市民団体と連携して、青少年の健全な育成を図ります。

創造を
ま
ち
「ふるさと」づくり

●ふるさと文化基金の利子収入を財源に、相模川形彫刻、遊歩橋など市内に広げる民芸館を、次代に伝えます。また、ビデオに収録し保存します。

●市民の健康づくりの推進を図ります。また、市民一人ひとりが充実した人生を送ることを目標にして、学校、クラブ、市民団体と連携して、青少年の健全な育成を図ります。

●市民の健康づくりの推進を図ります。また、市民一人ひとりが充実した人生を送ることを目標にして、学校、クラブ、市民団体と連携して、青少年の健全な育成を図ります。

●市民の健康づくりの推進を図ります。また、市民一人ひとりが充実した人生を送ることを目標にして、学校、クラブ、市民団体と連携して、青少年の健全な育成を図ります。



として活用していただくための、六


農林業

- 下曾我、曾我地区を中心とした「梅の里づくり」の計画地域内の農道の整備などを行います。
- 農業総合活性化対策として片浦、早川地区を対象に一みかんの里づくりのための基本計画を作成します。
- 萩原、石垣山農道の整備を継続して進めます。
- 前年度に引き続き、家畜処理場を利用した飼料作物栽培の整備事業を助成します。
- 年々利用者が増加している「いこいの森」の施設を拡充するための事業場、あそびの広場、トイレなどを整備します。

工業

- 総合的な産業政策を推進します。
- 快適な都市基盤を整備します。
- 交通体系を確立します。

活方のまち 小田原の再建



- 江村植物公園では、園路、広場、修繕施設などの整備を引き続き行います。
- 久野公園では、本年度三十六区画の墓所を造成します。
- 城山公園は、既に既設公園などを整備します。

水産業

- 小田原漁港の改良事業を継続して行い、防波堤を整備します。
- 水産資源確保のため、根府石沖合で行う漁場造成事業費を助成します。

工業

- 工業団地の整備に向けて、成田、桑原地区の実地計画を策定するほか、鬼柳、桑原地区の現況調査などを行います。

商業・観光

- 六甲店会が行うアーケード町の改修及びカラー舗装など共同施設を設置費を助成します。
- 「かながわ国際観光モテル地区」に指定されたことを契機に英作文書の観光案内板や英文の観光パンフレットを作成します。
- 小田原西口から江村植物公園、北條切通屋敷などを経て、五百羅漢に至るハイキングコースを設定し道標を設置します。これで市内のハイキングコースは、八百コースとなります。

市街地再開発

- 前年度に引き続き小田原駅前の一仮称「貨物ヤード跡地区」の再開発事業計画を都市景観などに配慮し、快適な都市づくりを行うための調査を行います。
- 下曾我特定土地区画整理事業区画内、二か年事業、仮称「保健センター」建設事業に関連する宮下橋(下堀川)の架け替えを行います。



整備が進む緑の市計画道路 原町萩原線

散歩に森林浴にどうぞ辻村植物公園

小田原らしさ

「歴史と文化の香

事務管理

- 日本語ワードプロセッサ、パーソナルコンピュータを増設し、事務処理の正確、迅速、効率化を図ります。
- 書籍の業務をOA化することにより、本年度は児童図書貸出業務などを小型オフィスコンピュータで処理するようにします。

広報・広聴

- ビデオ広報を拡充するため、市勢紹介番組や行政ニュース番組を今年度も制作し、市役所、市立病院、小田原地下街で放映します。
- 新たなメディアとして小型電光掲示板により、行政ニュースをお知らせします。



女性の社会参加について語る

情報公開

- 昭和六十六年度から市政の情報公開センターを開設します。

女性の社会参加

- 女性がその個性、能力、意欲を發揮できる機会を拡大・推進するため各方面から調査研究をします。
- 高度情報化への対応を図るための調査・研究をします。

市民参加

- 昭和六十一年度から市政の情報公開センターを開設します。

まちづくり

- 昭和六十一年度から市政の情報公開センターを開設します。

まちづくり

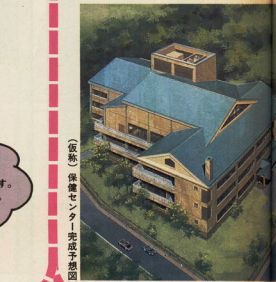
- 昭和六十一年度から市政の情報公開センターを開設します。

まちづくり

- 昭和六十一年度から市政の情報公開センターを開設します。

ごみ・し尿処理

- ごみの増加と多様化に加え、第二工場建設の老朽化が進んでいるため、焼却施設を本年度から三年計画で増設します。
- ごみの分別収集に協力していた大口地区等に引き続き協力を交付します。



(仮称) 保健センター完成予想図

- 行政運営を改革します。
- 市民参加のシステムを確立します。
- 新たな行政課題へ取り組みます。

ビデオ広報の拡充

財政特集号(第3号)は、財政特集(第3号)11へばりかき

特別会計のあらまし

算出数字はすべて昭和六十三年年度
予算に基づくものです。
(一)内は予算規模を示します。

国民健康保険会計
(77億円)

加入者数 62,600人
年間1人当たり平均医療費 116,060円
年間1人当たり平均保険料 57,064円



下水道会計
(67億7,500万円)

処理原価 (1=当たり) 161円
使用料単価 (1=当たり) 72円



天守閣会計
(1億1,400万円)



1日平均入場者数 1,301人
入場料 大人 250円
小人 100円



競輪会計
(203億5,000万円)

競輪会計の収益金 (22億円) は、土木費・教育費・下水道事業などの建設事業にわたります。

公設地方卸売市場会計
(2億550万円)



1日当たり平均取扱量
青果物 151.5t
水産物 74.0t

交通災害共済会計
(7,200万円)

加入者数 151,840人
加入率 80%
1件当たり平均見舞金 95,763円



農業共済会計
(1億700万円)



加入戸数 農作物(水稲・雑糧・麦) 1,704戸
果樹(みかん) 130戸
家畜 (乳牛・肉用牛・種豚・肉豚) 28戸
園芸 85戸

国民健康保険診療
施設会計
(4,150万円)

1日平均患者数 32人



病院会計
(75億3,060万円)

1日平均患者数 396人
入院者 1,190人
ベット数 417床

水道会計
(37億3,333万円)



給水戸数 54,400戸
普及率 96.2%
給水原価 (1=当たり) 112円
供給単価 (1=当たり) 122円

片浦地区簡易水道会計
(8,100万円)



片浦地区の生活用水を安定して供給するため、同地区の簡易水道を公営化することとし、昭和64年度から施設の整備を実施します。

老人保健医療会計
(69億2,020万円)

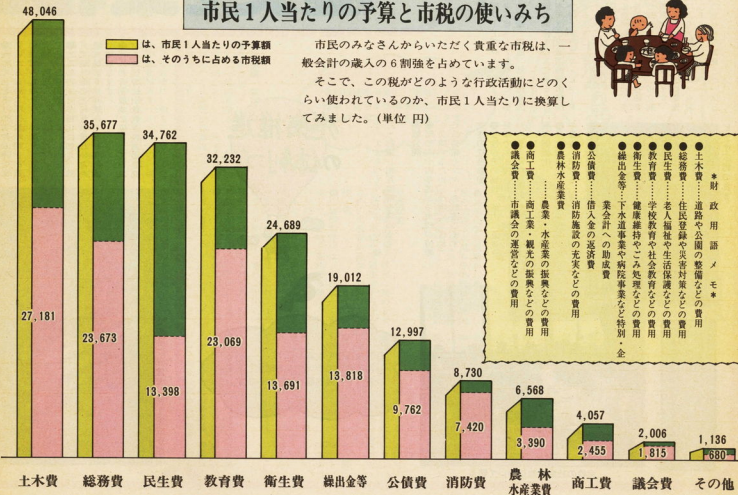


対象者数 13,740人
年間1人当たり平均医療費 518,515円
年間1人当たり平均本人負担額 19,185円

市民1人当たりの予算と市税の使いみち

■ は、市民1人当たりの予算額
■ は、そのうちに占める市税額

市民のみなさんからいただく貴重な市税は、一般会計の歳入の6割強を占めています。そこで、この税がどのような行政活動にどのくらい使われているのか、市民1人当たり換算してみました。(単位 円)



- 財政用語メモ ●
- 土木費……道路や公園の整備などの費用
 - 総務費……住民登録や長寿対策などの費用
 - 民生費……老人福祉や生活保護などの費用
 - 教育費……学校教育や社会教育などの費用
 - 衛生費……健康維持やごみ処理などの費用
 - 繰出金等……下水道事業や病院事業などに特別会計への助成費
 - 公債費……借入金の返済などの費用
 - 消費費……消防施設の充てなどの費用
 - 農林水産業費……農業・水産業の振興などの費用
 - 商工費……商業・観光の振興などの費用
 - 議会費……市議会の運営などの費用